

第1回「SDGs未来都市」シンポジウム

珠洲市が目指す過疎地域の “未来交通”システムとは

珠洲市は平成30年6月に持続可能なまちづくりを推進する
「SDGs未来都市」に選定されました。

これを機に産学官金のプラットフォーム機能をもつ「能登SDGsラボ」を開設し、
世界農業遺産の活用、大学との連携による人材育成や自動運転システム、
奥能登国際芸術祭等の持続的な発展を通して

SDGsの基本理念でもある「誰一人取り残さない」社会の実現を目指します。

一方、市民の皆さんの移動を支えるバスを中心とする公共交通の利用は減っており、
このままでは路線の維持が困難になることが予想されています。

今回のシンポジウムは、これからの過疎地域の公共交通の在り方について
皆さんで考える機会にしたいと思います。

日時

平成 31 年 3 月 3 日 (日)
14:00~17:00

場所

ラポルトすず 大ホール
石川県珠洲市飯田町1丁目1-8

プログラム

シンポジウム 14:00~16:00

■現状報告 14:10

「珠洲市公共交通の現状について」珠洲市企画財政課長 金田直之氏

■基調講演 14:20

「金沢大学が目指す自動運転システムの現状」金沢大学教授 菅沼直樹氏
- 休憩 (10分) -

■パネルディスカッション 15:00

テーマ「過疎地域“移動システム”の構築に向けて」

自動運転車両試乗会 16:00~17:00 【先着30名限定 要予約】

自動運転車両の試乗会は、飯田町周辺にて実施予定です。

※乗車時間は事務局で指定させていただきます。また、参加者アンケートへのご協力を
お願い致します。

講師紹介



金沢大学教授
菅沼直樹氏

2002年金沢大学大学院博士課程修了、博士（工学）。日本学術振興会特別研究員PDを経て、同年金沢大学工学部助手に着任。2015年より異分野融合の研究を主任務とする金沢大学新学術創成研究機構に移籍し、現在同機構自動運転ユニットユニットリーダーを務める。1998年から自動運転自動車の研究を開始し、2015年からは国内の大学として初となる市街地での公道走行実験も開始。2016年 堀場雅夫賞受賞。

パネルディスカッション

■コーディネータ



金沢大学教授
高山純一氏

北陸地方整備局事業評価監視委員会、金沢市開発審議会、石川県都市計画審議会などの委員を務める。

■パネリスト

珠洲市長	泉谷満寿裕氏
国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局長	松本英二氏
金沢大学教授	菅沼直樹氏
北鉄奥能登バス株式会社取締役社長	田口成樹氏

参加申込み方法

必要事項を記載の上、メールもしくはファックスにてお申し込みください。

Mail kizai@city.suzu.lg.jp

Fax 0768-82-2896

※メールで申込みをされる際は、件名に「シンポジウム申込み」と記載し、氏名・所属・住所・連絡先・試乗会参加希望の有無を明記してください

お問い合わせ

珠洲市 企画財政課
TEL：0768-82-7716

会場案内図



—FAX用申込み用紙—

(ふりがな) 氏名		所属	
住所			
連絡先	電話番号 - () -	FAX番号 - () -	
試乗会	参加希望 あり	なし	※どちらかに○をつけてください

※お申し込みいただきました個人情報は、厳重に管理・保管し、当シンポジウム以外の目的には使用いたしません。